

The 34th Kinki Occupational Therapy Congress

# 第34回 近畿作業療法学会

今・作業療法の出番です!

～人を幸せにする作業療法～

会期 ● 2014年 10月5日(日)

会場 ● 栗東芸術文化会館 SAKIRA ～さくら～

主催 ● 近畿作業療法士連絡協議会

学会長 ● 石黒 望

近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター

第34回近畿作業療法学会

当日参加

申し込み用紙

※事前参加申し込み(9月19日まで)をされる方は、学会ホームページより手続きを行ってください。

お願い

- 予めご記入の上、当日受付にてご提出下さい。
- 下記の該当する□をチェックしてください。

<input type="checkbox"/> 正会員 OT 近畿2府4県の 各作業療法士会員  <b>5,000円</b> (抄録代込み)  事前登録は4,000円 9/19(金)まで受付	<input type="checkbox"/> 非会員 OT 左記に該当しない 作業療法士  <b>6,000円</b> (抄録代込み)  事前登録はありません	<input type="checkbox"/> 他職種  <b>7,000円</b> (抄録代込み)  事前登録はありません	<input type="checkbox"/> 学 生  <b>1,000円</b> (抄録代別)  事前登録はありません	<input type="checkbox"/> 一 般 当事者もしくは ご家族など  <b>1,000円</b> (抄録代別)  事前登録はありません
--	--	--	---	---

ふりがな 氏 名	会員番号
-------------	------

所 属

士 会 名

ご注意

- 近畿2府4県の各作業療法士会の方々は会員証をお忘れなくご持参・ご提示ください。会員証の提示がない方は非会員 OT の扱いになりますので、予めご了承ください。
- 近畿2府4県の OT 会員であり、かつ学生(学部生・大学院生)の方は、正会員としての参加費をお支払いください。
- 近畿2府4県の各府県士会に所属されていない方々は非会員 OT として参加費をお支払いください。
- 学生の方は、学生証をご提示ください。

会員証をお忘れなくご持参ください

平成26年9月1日

病 院 長 殿  
施 設 長 殿

近畿作業療法士連絡協議会  
第34回近畿作業療法学会  
学会長 石黒 望



## 第34回近畿作業療法学会の出張許可について（依頼）

謹 啓

時下益々ご清栄のことお喜び申し上げます。

平素より、近畿作業療法士会連絡協議会の活動につきまして格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、第34回近畿作業療法学会を下記の要綱にて開催する運びとなりました。つきましては、貴施設の作業療法士 殿の学会出張に際し、格別のご高配を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

謹 白

### 記

開催日時：平成26年10月5日（日）9:40～17:45

テ ー マ：今・作業療法の出番です！  
～人を幸せにする作業療法～

内 容：①特別講演  
②シンポジウム  
③活動報告  
④一般演題

会 場：栗東芸術文化会館 SAKIRA  
〒520-3031 滋賀県栗東市糺2丁目1-28  
電話：077-551-1455（代表）

### < 事務局 >

済生会滋賀県病院 リハビリテーション科内  
〒520-3046 滋賀県栗東市大橋2丁目4-1  
電話：077-552-1221（代表）

The 34<sup>th</sup> Kinki Occupational Therapy Congress

# 第34回 近畿作業療法学会

## 今・作業療法の出番です!

～人を幸せにする作業療法～

会 期 ◆ 2014年 10月5日(日)

会 場 ◆ 栗東芸術文化会館SAKIRA～さきら～

学会長 ◆ 石黒 望

近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター

主 催 ◆ 近畿作業療法士連絡協議会

担 当 ◆ 一般社団法人 滋賀県作業療法士会

後 援 ◆ 滋賀県

栗東市

一般社団法人 滋賀県医師会

一般社団法人 滋賀県病院協会

公益社団法人 滋賀県看護協会

公益社団法人 滋賀県理学療法士会

滋賀県言語聴覚士会

公益社団法人 滋賀県社会福祉士会

一般社団法人 滋賀県介護福祉士会

公益社団法人 全国老人保健施設協会滋賀県支部

滋賀県老人福祉施設協議会

滋賀県障害者自立支援協議会

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

一般社団法人 日本作業療法士会

---

第34回 近畿作業療法学会 事務局

〒520-3046 滋賀県栗東市大橋2丁目4-1

社会福祉法人恩師財団済生会滋賀県病院 リハビリテーション科内

電話：077-552-1221(代)

# INDEX

---

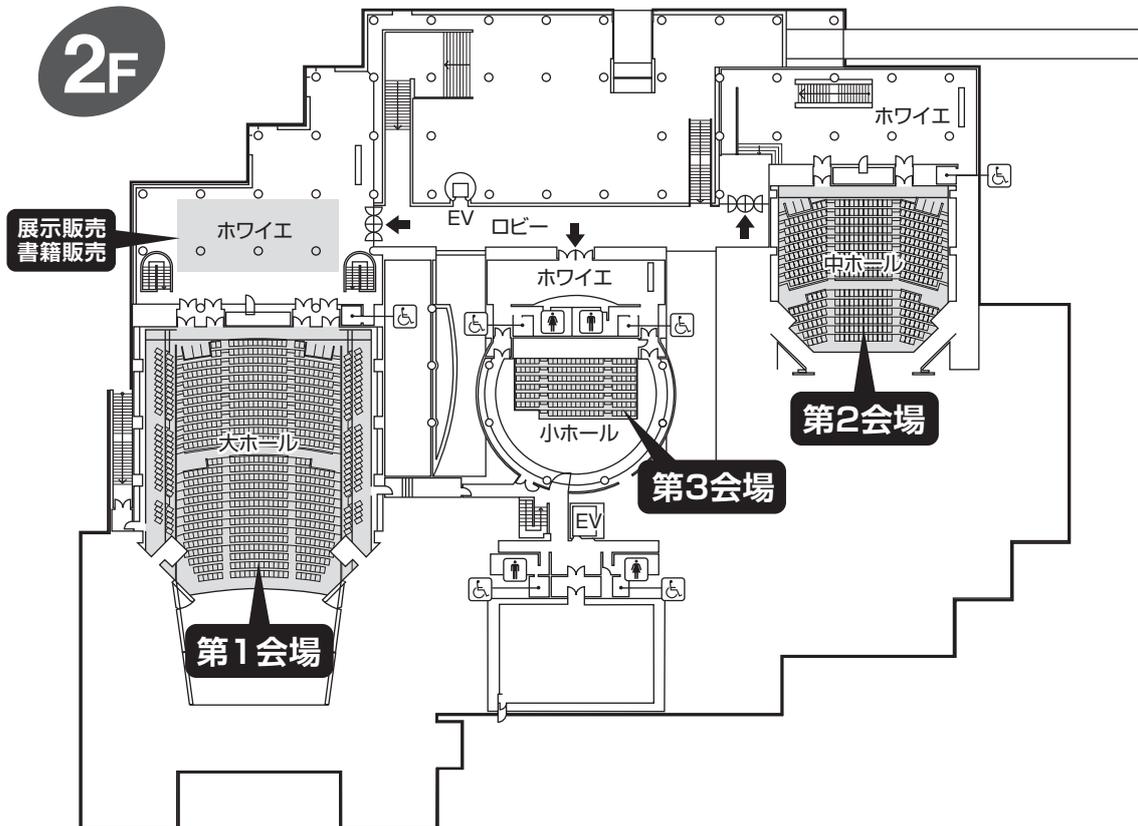
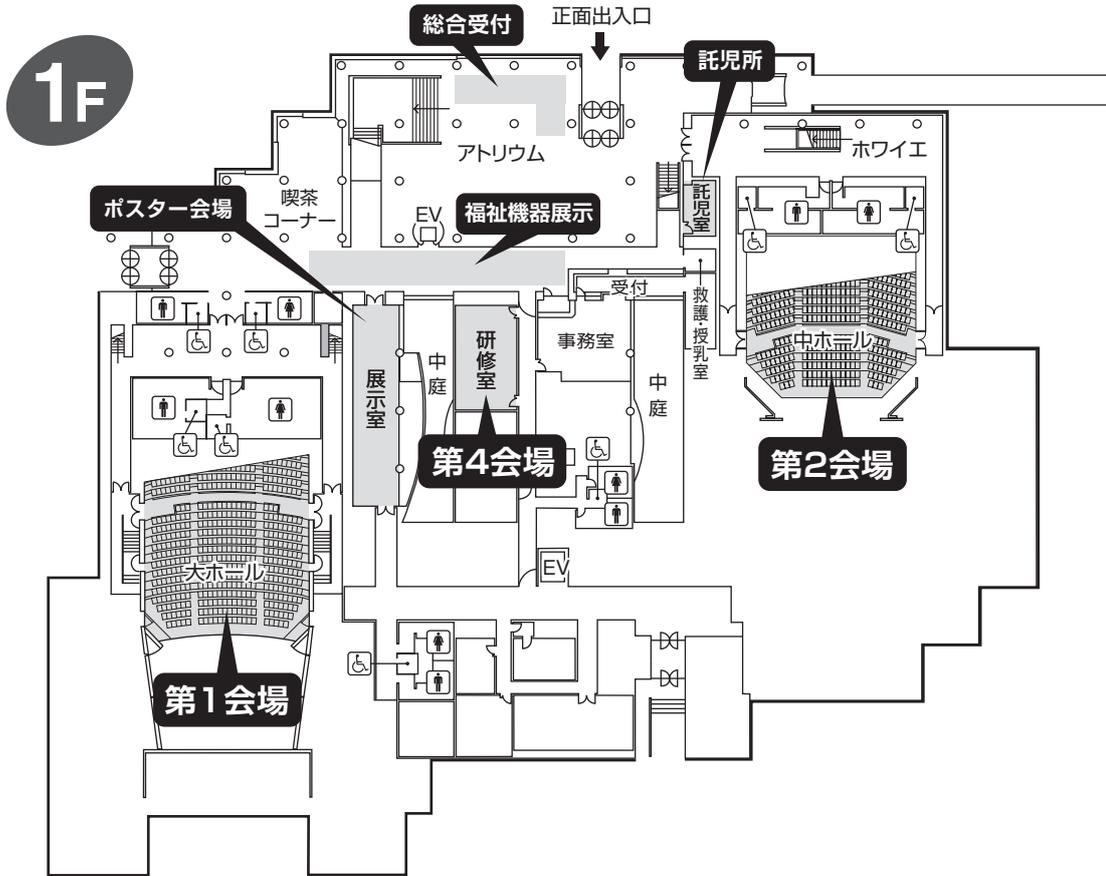
実施要項	1
学会長あいさつ	3
参加者の皆さまへ	4
座長の皆さまへ	6
発表者の皆さまへ	6
表彰について	8
会場への交通案内	9
会場案内	10
学会日程表	11
プログラム	12
特別講演・シンポジウム	21
特別セッション	29
一般演題(口述)	35
一般演題(ポスター)	77
学会特別企画	108
第34回近畿作業療法学会実行委員	109

## 会場への交通案内



- 車でお越しの場合……名神高速道路「栗東IC」より約3km。
- 電車でお越しの場合… JR琵琶湖線「栗東駅」(大阪から約60分、京都から約25分)  
栗東駅東口より約400m、徒歩5分。

# 会場案内



2014年 10月5日(日)

	第1会場 大ホール	第2会場 中ホール	第3会場 2F 小ホール	第4会場 1F 研修室	ポスター会場 1F 展示室	1F アトリウム	2F 大ホール ホワイエ	1F 託児室
9:00	9:10～ 開場・受付							
	9:40～9:55 開会式							
10:00	10:00～10:50 口述 1 作業全般 O-01～05 座長：中元 千絵	10:00～10:50 口述 3 疾 病 O-11～15 座長：谷村 浩子	10:00～10:50 口述 5 感覚-運動・中 枢神経、筋骨・ 末梢神経の障害 O-21～25 座長：□□□□	10:00～10:50 口述 7 精神障害、心 理、対人関係 O-31～35 座長：芳賀 大輔	10:00～10:50 ポスター 1～3 身体障害・認知機能 /セルフケア/サー ビス・治療的作業 P-01～14	9:30 } 15:00 機 器 展 示	9:30 } 17:45 書 籍 販 売	9:30 } 14:30 作 業 所 展 示 ・ 販 売
11:00	11:00～11:50 口述 2 援助機器、仕事 O-06～10 座長：西井 正樹	11:00～11:50 口述 4 感覚-運動・中 枢神経の障害 O-6～20 座長：上島 健	11:00～11:50 口述 6 セルフケア、知 的機能、その他 O-26～30 座長：□□□□	11:00～11:50 口述 8 認知機能 O-36～40 座長：川崎 美穂	11:00～11:50 ポスター 4～6 作業全般・仕事・余 暇/専門職・教育/ 発達障害・精神障害 P-15～28			
12:00	12:00～12:40 特別セッション	近畿連携4事業・活動報告 災害支援連携事業、 早期認知症支援チーム連携事業、 生活行為向上マネジメント連携事業、 バリアフリー展連携事業 座長：東條 秀則 奈良県士会 演者：明間 順子 和歌山士会 関本 充史 大阪府士会 西井 正樹 奈良県士会 山下 協子 大阪府士会						
13:00	12:40～13:10 昼 食							
14:00	13:10～14:40 特別講演 今・作業療法の 出番です！ 司会：石黒 望 地域包括ケアシス テムと作業療法 ～制度改定を踏まえて 演者：土井 勝幸 日本作業療法士協会 常任理事							13:00 } 17:30 託 児 所 ( 午 後 )
15:00	14:50～17:20 シンポジウム 今・作業療法の 出番です！ ～人を幸せにする 作業療法～ 司会：石黒 望 シンポジウム・コーディネーター： 酒井 ひとみ 関西福祉科学大学 パネリスト： 上城 憲司 西九州大学 港 美雪 愛知学院短期大学 酒井 康年 うめだ・あけぼの学園 竹林 崇 兵庫医科大学病院							
17:00	17:20～17:45 閉 会 式							
18:00								

# プログラム

特別セッション 12:00～12:40

第1会場(大ホール)

座長：東條 秀則(都道府県作業療法士会連絡協議会 近畿支部長士会 一般社団法人 奈良県作業療法士会)

## 近畿連携4事業・活動報告

災害支援連携事業、早期認知症支援チーム連携事業、  
生活行為向上マネジメント連携事業、バリアフリー展連携事業

12:00～12:08

### SS-1 近畿作業療法士連絡協議会 連携事業活動報告 ～災害支援対策事業～

明間 順子 和歌山県士会

12:09～12:17

### SS-2 近畿作業療法士連絡協議会 連携事業活動報告 ～早期認知症支援チーム連携事業～

関本 充史 大阪府士会

12:18～12:26

### SS-3 近畿作業療法士連絡協議会 連携事業活動報告 ～生活行為向上マネジメント連携事業 推進プロジェクト委員会～

西井 正樹 奈良県士会

12:27～12:35

### SS-4 近畿作業療法士連絡協議会 連携事業活動報告 ～バリアフリー展連携事業 「生活の中のちょっと困った事相談コーナー」報告～

山下 協子 大阪府士会

12:35～12:40

まとめ

## 今・作業療法の出番です！

特別講演 13:10～14:40

第1会場(大ホール)

司会：石黒 望(近江温泉病院)

【 地域包括ケアシステムと作業療法  
～制度改定を踏まえて～ 】

土井 勝幸 一般社団法人 日本作業療法士協会 常任理事

シンポジウム 14:50～17:20

第1会場(大ホール)

司会：石黒 望(近江温泉病院)

【 今・作業療法の出番です！  
～人を幸せにする作業療法～ 】

シンポジウム・コーディネイター

酒井 ひとみ 関西福祉科学大学

パネリスト

上城 憲司 西九州大学

港 美雪 愛知学院短期大学

酒井 康年 うめだ・あけぼの学園

竹林 崇 兵庫医科大学病院

# 一般演題

口述1 10:00～10:50

第1会場(大ホール)

[ 作業全般 ]

座長：中元 千絵(医療法人やすだ 堀口記念病院)

- O-01** 能動的なペン操作が描円動作に与える効果について  
細川 雄平 医療法人社団 淡路平成会 平成病院
- O-02** なぜ公共交通機関の利用練習を行えないか？  
—全国都市部の回復期リハビリテーション病棟における  
練習非実施の理由を分析した質的研究—  
小川 真寛 京都大学大学院 医学研究科
- O-03** 作業再開を契機に麻痺手使用が促進した事例 ～外来作業療法での介入～  
田内 悠太 兵庫医科大学ささやま医療センター リハビリテーション室
- O-04** 在宅復帰後の役割遂行に向けて夫婦間の役割を共有した脳梗塞患者の一例  
宮 佐知 関西電力病院 リハビリテーション科
- O-05** クライアントの作業の意味と目的を共有する重要性に関する実践報告  
—回復期作業療法と訪問作業療法の連携を通して—  
中原 啓太 医療社団法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院 総合支援課、作業乃風、  
吉備国際大学 保健科学研究科

口述2 11:00～11:50

第1会場(大ホール)

[ 援助機器、仕事 ]

座長：西井 正樹(関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻)

- O-06** 作業に焦点を当てたクライアント中心の福祉用具選定  
～自宅で安全に満足して家事の継続が可能となった事例～  
中宇地 堅大 生長会 府中病院 作業療法室
- O-07** タブレット PC を用いた上肢協調性運動機能評価システムとリハビリ支援機器  
(Trace Coder)の開発  
水岡 崇 兵庫県立リハビリテーション西播磨病院 リハビリテーション部 作業療法科
- O-08** 模擬授業を行うことで、高校教師復帰への意欲に目覚めた一例について  
中林 智美 社会医療法人若弘会 わかくさ電間リハビリテーション病院
- O-09** 多彩な高次脳機能障害に対する就労支援アプローチの一例  
森岡 良太 独立行政法人 国立病院機構 舞鶴医療センター
- O-10** 復職に向けた回復期リハビリテーションからの取り組み  
市木 紀妃 医療法人芙蓉会 南草津病院

[ 疾病 ]

座長：谷村 浩子(学校法人滋慶京都学園 京都医健専門学校)

**O-11** 当院での心大血管疾患リハビリテーションにおける作業療法

川瀬 智隆 市立長浜病院 リハビリテーション技術科

**O-12** 当院におけるリウマチ教育入院の取り組みについて

後藤 祐美 市立長浜病院

**O-13** 上腕骨遠位端粉碎骨折と内側側副靭帯損傷を合併した症例の治療報告

山本 健太 敬誠会 合志病院

**O-14** 感覚機能の改善により不使用であった上肢が実用手となった中心性脊髄損傷の一症例

加古山 悟 医療法人回生会 京都回生病院

**O-15** リハビリテーションが終末期がん患者・家族に与える影響について  
～家族へのアンケート調査結果から～

乙川 亮 滋賀県立リハビリテーションセンター

[ 感覚-運動・中枢神経の障害 ]

座長：上島 健(大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部作業療法学専攻)

**O-16** A型ボツリヌス毒素製剤投与後に上肢訓練を実施した視神経脊髄炎の一例

打田 明 学校法人 兵庫医科大学病院 リハビリテーション部

**O-17** 慢性期にリーチング動作の回復が得られた一例

浅田 純一 医療法人孟仁会 摂南総合病院

**O-18** 腕神経叢損傷患者に対する中枢神経の可塑的变化を考慮した介入の試み

日下部 洋平 公益財団法人 豊郷病院

**O-19** 中心性頸髄損傷者のボディイメージに着目した介入の一考察

中尾 香織 三田市民病院

**O-20** 漢字検定準一級の受験に向けて書字動作に介入した一症例

奥村 忠士 公益社団法人信和会 京都民医連第二中央病院

- P-12** 認知症患者に対する個浴がもたらす効果について  
～個浴を導入した事により入浴関連動作に変化がみられた症例～  
竹下 陽介 医療法人内海慈仁会 姫路北病院

**ポスター3** 10:00～10:50

ポスター会場(1F 展示室)

[ サービス・治療的作業 ]

- P-13** コミュニティソーシャルワーカーから得た地域福祉の現状及び  
今後の作業療法士の可能性  
佐道 准也 千里津雲台訪問看護ステーション リハビリ和泉支所
- P-14** 作業を切っ掛けに家族との関係性が修復され、高齢者の内発的動機付けが  
向上した事例  
宇田 ゆりか 医療法人清翠会 牧リハビリテーション病院

**ポスター4** 11:00～11:50

ポスター会場(1F 展示室)

[ 作業全般・仕事・余暇 ]

- P-15** 退院後の生活から振り返る、回復期のトップダウンアプローチと  
リハビリサービスの意義について  
～クライアント中心の遂行文脈を10の側面で比較した2症例の報告～  
多田 真理子 医療法人恒仁会 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター
- P-16** 生活行為向上マネジメントを使用して入院中の調理動作が実現した例  
金岡 春奈 西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- P-17** 「車が運転したい」の実現に向けて  
～ドライビングシミュレーターを導入した当院の運転支援の紹介と実態調査～  
奥野 隆司 医療法人 恒仁会 近江温泉病院
- P-18** 当院回復期リハビリテーション病棟を退院した脳血管疾患患者の追跡調査  
～退院後のQOLに着目して～  
加藤 智志 医療法人恒仁会 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター
- P-19** 病院から地域へつなぐ OT の役割 ～作業所への就労を目指して～  
岩田 夏彦 公益財団法人 豊郷病院 リハビリテーション科
- P-20** パラレルな集まりから相互作用を持つ集まりへ  
～重症心身障害を持つ人のグループ活動による関係性の変化～  
渡辺 雅俊 社会福祉法人バルツァ事業会 重症心身障害児学園・病院 バルツァ・ゴードル

[ 専門職・教育 ]

- P-21** 作業療法士の感染対策意識と今後の課題 —アンケート調査を通して—  
佐々木 梢 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター
- P-22** 動作学習における異種感覚情報の使用 —健常者を対象にした検討—  
鈴木 佐知歌 滋賀県立むれやま荘
- P-23** 苦しかった実習から充実した実習へ  
—クリニカル・クラークシップの3ステップを用いて—  
浅井 康紀 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
- P-24** 臨床実習は作業療法学学生の臨床能力の認知に影響を与えるか?  
林 亜遊 大阪医療福祉専門学校 作業療法士学科

[ 発達障害・精神障害 ]

- P-25** 脊柱側彎外科手術後のADL再獲得の一過程  
～「何もできない」から「自分でしたい」まで～  
伊藤 左弥子 大阪発達総合療育センター 南大阪小児リハビリテーション病院
- P-26** タクティールケアを通して、陽性症状が軽減したA氏  
～「大声を出している人」から「自分の思いを伝えられる人」へ～  
大川 恵里 医療法人内海慈仁会 姫路北病院
- P-27** 当院における社会認知プログラムの実践  
小林 英美子 医療法人(財団)桜花会 醍醐病院
- P-28** 急性期病院におけるリエゾン作業療法の可能性  
悪性リンパ腫の治療中にせん妄を発症した症例に対する一考察  
道原 真也 市立豊中病院

# 特別講演 シンポジウム

今・作業療法の出番です！



# 地域包括ケアシステムと作業療法 ～制度改定を踏まえて～

一般社団法人 日本作業療法士協会 常任理事

土井 勝幸（施設長兼作業療法士）

医療法人社団東北福祉会 介護老人保健施設せんだんの丘 管理者

### 主な職歴

昭和61年

社会福祉法人日本心身障害児協会  
島田療育センター

平成12年

医療法人社団東北福祉会 介護老人  
保健施設せんだんの丘 副施設長

平成18年

学校法人梅檀学園 東北福祉大学  
特任准教授（兼務）

平成20年

医療法人社団東北福祉会 介護老人  
保健施設せんだんの丘 管理者

### 主な役職

一般社団法人 日本作業療法士協会  
常務理事（生活行為向上マネジメント  
担当理事・プロジェクトリーダー）

一般社団法人 日本訪問リハビリテー  
ション協会 理事

一般社団法人 全国デイ・ケア協会  
理事

宮城県老人保健施設連絡協議会 理事

### 主な委員

- ・仙台市介護保険審議会
- ・仙台市認知症対策推進委員会
- ・仙台市地域包括ケア連絡協議会
- ・仙台市認知症初期集中支援チーム  
検討委員会
- ・宮城県高齢者権利擁護推進委員会
- ・認知症介護研究・研修仙台センター  
運営委員会

作業療法の目標は、主体的な活動と参加を援助することであり、その手段は日常生活に関するすべての作業活動で、日常生活活動（個体の生存に必要な作業活動）、仕事・生産的活動（社会的に必要な義務的作業）や遊び・余暇活動（自由な時間における作業活動）等に分類される（作業療法白書2010）。また、「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について（通知）」（医政発0430第2号及び1号、平成22年4月30日）では、「作業療法の範囲」として、日常生活活動（ADL）、日常生活関連活動（IADL）、職業関連活動、福祉用具使用や住環境への適応、発達障害や高次脳機能障害等に対するリハビリテーションに作業療法士が活用されるべきことが明記されている。

また、作業療法（士）の専門性とは、医学の知識や技術を基盤に、暮らしを構成する作業を通して人やその生活機能を観、作業を通して障害があってもその人が生活に必要な作業ができるよう援助することである。具体的には、生活機能の状態に応じて、人的環境や物理的環境、制度・サービスなどの環境を整え活かし、その人の生活経験やできること、したいこと、ニーズを活かし、その人らしく生活できるよう支援することである。この支援を地域で実践することが、地域包括ケアシステムに貢献する作業療法（士）の役割である。

次期改定では、新しい介護予防・日常生活支援総合事業等の新たな仕組みや、地域ケア会議への参画等、作業療法士を取り巻く環境も大きな変革を求められることとなる。診療報酬や介護報酬といった枠組みで守られ？縛られ？てきた作業療法とは違う世界が待っている。今まで蓄積してきた作業療法を、本当の意味で地域において実践する時が来たと言って良いだろう、キーワードは「活動と参加」である。

その時、一人の作業療法士としてあなたは何を糧にして地域に出向きますか？それとも地域に出向く選択はありませんか？

地域包括ケアシステムの構築に向けて、今、何が変わろうとしているのかを知り、本学会のテーマである、「今、作業療法の出番です！」に込められた意味を考え、「～人を幸せにする作業療法～」とは具体的にはどんなことなのか？皆さんと一緒に創造する機会にしたいと思います。

# 特別セッション

## 近畿連携4事業・活動報告

災害支援連携事業、  
早期認知症支援チーム連携事業、  
生活行為向上マネジメント連携事業、  
バリアフリー展連携事業、

## 特別セッション

---

### SS-1 近畿作業療法士連絡協議会 連携事業活動報告 ～災害支援対策事業～

○明間 順子(和歌山県士会)

市田 忍(京都府士会)

塚原 正志(兵庫県士会)

東條 秀則(奈良県士会)

戸松 好恵(大阪府士会)

山本 尚美(滋賀県士会)

【災害支援対策事業の活動目的】活動目的は2つあり、

①大規模災害リハビリテーション支援団体協議会(以下 JRAT)への協力体制を考えること

②近畿2府4県の災害時ネットワークの構築である。

【リハ支援関連10団体と災害リハビリテーションコーディネーター研修会について】東日本大震災の発災後「リハ支援関連10団体」(平成25年7月に JRAT に名称変更)が組織された。その際の活動より大規模災害マニュアルが作成、複数の組織間でのチームと連携の必要性とコーディネーターの育成の重要性から災害リハビリテーションコーディネーター養成研修会が4回開催され、近畿からも各府県参加した。この研修会を機に都道府県単位で多職種からなる災害リハビリテーションコーディネーターチームが立ち上げられ、来るべき災害に備えることになった。今後近畿でも OT だけでなく多職種とも連携していく必要がある。

【災害時の連携の必要性について】今後、M8～9クラスの地震が30年以内に60%～70%の確立で発生すると言われており、近畿では南海地震・東南海地震の発生を大規模災害として想定する必要がある。その為、近畿の各府県では巨大地震対策を検討する目的で地域防災計画の見直しや修正への取り組みがみられる。

また阪神淡路大震災や東日本大震災の支援活動内容報告からも近隣府県の連携が重要であることは明らかに理解でき、今後必ず起こりうる災害時に、効率よく

効果的に助け合うことが出来るようになるためには、今から準備が必要である。これまでの震災支援報告で挙げられている課題は、今後の支援体制に適切に活かしていくべきものであり、そのために会員一人一人が災害リハビリテーションに関心を持ち、被災後の生活を想定しながらスキルを身につけていくことが重要である。災害とは生活行為にどういった影響を及ぼすのか、支援者として活動する場合だけでなく、自身が被災した場合はどうなのか。そういった視点も持ち合わせながら「他人ごと」にならないよう意識を高めていきたい。

# 一般演題

口述

## O-01 能動的なペン操作が描円動作に与える効果について

○細川 雄平(OT)<sup>1)</sup>、武久 洋三(MD)<sup>2)</sup>

1) 医療法人社団 淡路平成会 平成病院

2) 平成リハビリテーション専門学校

Key word : (能動的)、(ペン操作)、情報処理

**【目的】** 能動的な道具操作は、感覚受容器の閾値向上<sup>1)</sup>や道具と身体との統合<sup>2)</sup>に重要であると報告がある。今回我々は、能動的なペン操作が描円動作に与える効果について実験を行ったので報告する。

**【対象】** リハビリテーション専門学校の学生、男性14名(22.7 ± 4.5歳)、女性16名(21.8 ± 3.8歳)に協力を得る。全員、右利きである。事前に実験の趣旨・方法などについて説明し、同意を得ている。

**【方法】** 開始肢位は、概ね膝・股関節90°屈曲位で端座位を保持させ、前方に机を設置した。被験者と机の距離は、描円課題において肘が完全に伸展しない程度とした。机の高さは肘関節90度屈曲位で橈骨の高さとした。また僧帽筋上部線維の筋活動量を測定するため、表面筋電計<sup>\*</sup>を使用した。課題は、机に直径22cmの円を描いた用紙を配置し、右手に把持したペンで円上を自身のペースで20回なぞらせた。その直後に別に用意した白紙に閉眼で同じ円を描画させる課題とした。このとき、ペン先が垂直となるように説明した。手順は、描画する円を検査者の誘導によって円上をなぞり認識させた後、閉眼で描画させた群(描円A群)と、描画する円を被験者自身で円上をなぞり認識させた後、閉眼で描画させた群(描円B群)に被験者を半数に分けた。情報収集は、

- 1) 描画の誤差：描画させる円と描画した円の差を円の中心から上下・左右の誤差を計測し、上下の誤差と左右の誤差を採用した。
- 2) 僧帽筋上部線維の筋活動量：描画開始から終了までの筋活動量を測定した。
- 3) 描画時間：描画開始から終了までに要した時間を測定した。

データ処理は、以上の3項目を各群で比較した。統計処理はマンホイットニーのU検定を用いた。有意水準は危険率5%未満とする。

<sup>\*</sup>マイオリサーチ XP(EM-129M)ノラクソン社製  
サンプリング周波数:1,500Hz

### 【結果】

- 1) 描画の誤差：上下では描円A：54.6 ± 16.5mm、描円B：25.3 ± 16.9mm。有意差あり(P=0.00)。左右では描円A：38.5 ± 20.7mm、描円B：24.7 ± 16.7mm。有意差なし(P=0.08)。
- 2) 僧帽筋上部線維の筋活動量：描円A：148.5 ± 84.9 μV/秒、描円B：211.1 ± 130.3 μV/秒。有意差なし(P=0.24)。
- 3) 描画時間：描円A：5.2 ± 1.3秒、描円B：5.6 ± 2.5秒。有意差なし(P=0.90)。

**【考察・まとめ】** 本実験において描円B群では描円A群よりも描画の誤差が有意に小さく、僧帽筋上部線維の筋活動量は増加傾向にあった。能動的なペン操作は、把持した手の構えや指先にかかる圧、紙面上を走らせたときの摩擦感などの情報を処理して適切に運動をコントロールできる。また「対象物の形状、対象のどこを持っているかといった保持位置に関する情報、さらには、自分自身の腕がどういった方向に向いているか」などの情報も入手できる<sup>3)</sup>。つまり、描画前に被験者自身が能動的に円上をなぞる運動を行ったことで筋や関節からの位置、角度、張力等の求心情報を即時処理でき、描画に必要な運動パターンが形成され、描画する円に近い大きさの円が再生できたと示唆する。

### 【文献】

- 1) Katz, D. カッツ, 触覚の世界, 東山篤規, 岩切絹代訳, 新曜社, 東京, (2003).
- 2) Iriki A et al: Coding of modified body schema during tool use by macaque postcentral neurons. *Neuroreport* 7: 2325-2330. 1996.
- 3) Turvey, M. T. ダイナミックタッチ(三嶋博之, 訳), In 佐々木正人・三嶋博之(編). 「アフォーダンスの構想: 知覚研究の生態心理学的デザイン」, pp. 173-211, 東京, 東京大学出版会.

# 一般演題

ポスター

## P-26 タクティールケアを通して、陽性症状が軽減した A 氏 ～「大声を出している人」から「自分の思いを伝えられる人」へ～

○大川 恵里(OT)

医療法人内海慈仁会 姫路北病院

Key word：統合失調症、(陽性症状)、(タクティールケア)

【はじめに】当院では X 年よりタクティールケアを導入、X+3 年より OT も看護師と共に取り組んでいる。タクティールケアとは、木本(2011)によるとスウェーデン発祥のタッチケア。ラテン語のタクティリス(Taktilis)に由来する言葉で「触れる」という意味がある。手のひらを使って相手の背中や手足をやわらかく包み込むように触れていく手技である。今回、長期入院中の統合失調症の症例に対しタクティールケアを行ったところ、陽性症状に変化がみられた為、以下に報告する。尚、症例の同意及び当院倫理委員会の了承を得ている。

【症例紹介】A 氏、60 歳代女性。統合失調症。閉鎖病棟へ約 40 年間長期入院中。医療保護入院。GAF22 点。PANSS は興奮中等度、猜疑心と敵意で重度。精神障害者ケアアセスメント日本作業療法士協会版(第 3 版)で平均 2.9 点。病棟内を歩き回り、独語活発。支離滅裂な内容を大声で訴える、コップで机などを叩いていることが多く、一人で過ごしている。

【目的】OT が、タクティールケアを通して A 氏と言語的・非言語的に関わる事で、妄想世界に囚われず現実的な安定した時間を過ごす事が出来る。

【方法】日本スウェーデン福祉研究所タクティールケア I コースの認定資格を取った OT が、タクティールケアを週に 1～2 回 1 ヶ月間、完全個別の静かな環境にて全 7 回(背中 3 回、手 2 回、足 2 回)実施。実施前に手・足・背中より A 氏の希望する部位を選択してもらう。手・足を実施する場合は、指定のオイルを使用。OT はどのような内容でも A 氏を傾聴する姿勢で接し、受容的に関わる。

【経過】A 氏は導入時、病棟ダイルームにて独語・大声が著明であった。OT が説明に入ると A 氏は落ち着いて聞き入れ、参加を了解する。初回は A 氏にとって刺激の少ない背中を OT が選択、実施。A 氏はスムーズに身体を委ね静かに枕に伏せ、時折小声で独語

みられるものの、時間内は穏やかに参加し後半は閉眼している。「気持ちよかった。温かかった」と笑顔で話す。OT が今後も継続して行ってもよいか本人に意思確認すると「いいよ」と了解を得る。2 回目以降も実施前は変わらず独語・衝動行為著明、OT が声をかけるとタクティールケアについて覚えており A 氏はスムーズに応じる。開始時より閉眼し、独語みられず終始静かに受ける。手や足のタクティールケア時は「私可哀想でしょ。あなた話聞いてくれてありがとう」「アホだから、病気だから可愛がってもらえないの」と時折泣き出しそうな表情で穏やかに話す。回を重ねるごとに「この前背中したから足にする」と部位を自身で希望し選択するようになる。ケア実施中でなくても「昨日してもらってよくなった」とスタッフに話す。開始から約 1 ヶ月後、病棟スタッフから「最近大声だしてないように感じる」との報告がある。

【結果】初期評価時と変化点のみ記載。PANSS の興奮・猜疑心で軽度、敵意でごく軽度と変化がみられた。

【考察】PANSS の変化要因は、田嶋(2007)によるとタクティールケアを行うことで、オキシトシンホルモンが分泌すると言われており、A 氏の脳内においてもオキシトシンが分泌し鎮静作用を持ち安心感と信頼といった感情がもたらされた可能性があるのではないかと考えている。また、特定のスタッフが限られた時間であるが、受容的に関わる事に加え、触れる事で言葉を越えたコミュニケーションが生まれ、より早期に二者関係が近づいた事により安心が得られ、この人なら話を聞いてくれると感じられた事から、自分の思いを素直に話し、妄想的な発言の減少、興奮・猜疑心・敵意の項目が軽減され、現実的に人と関わる時間を過ごすことが出来たのではないかと考えた。

## 第34回 近畿作業療法学会

---

発行者：近畿作業療法士連絡協議会

事務局：済生会滋賀県病院 作業療法士 斎藤（本学会事務局長）  
〒520-3046 滋賀県栗東市大橋2丁目4-1  
E-mail：kinot34@gmail.com

出版： 株式会社セカンド  
学会サポート <http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025



栗東芸術文化会館SAKIRA